

人達が生活を営む集落に興味をお持ちになつたのであった。殿下は三十五年前に一度御岳山を訪れており、とても懐かしいとおっしゃっていた。神社に向かう途中では、一般の登山者や参拝者さらに道に出てお迎えをする住民の皆さんにも気軽に声をかけられ、殿下の気さくな一面も、普段テレビなどの映像からは想像できず、これをきっかけに緊張は吹っ切れた。

神社に到着し、とにかく参拝。一通り神社の説明を行ったあとは、歴代の天皇をお祀りする皇孫神社をはじめ、境内地の隅々までご案内になり、歴史の古さに感銘されていたようであった。そして、殿下の知識の広さと深さが会話の中に伺え驚かされた。これはうかつなことは言えないと密かに思った次第である。

神社を後に日の出山に向かう。季節は晩秋である。咲いている花もなく野鳥の声もあまり聞こえてこない。それにいろいろ山に行き、そのたびにたくさんの方から植物や自然のお話は聞かれています。思われる殿下である、しぜんと歴史や民族の話になつてしまった。そうこうしている内に日の出山の山頂が近づいてきた。東雲山荘の前で一呼吸入れ山頂を目指す。山頂ではプレス

部はその当時の物であり、使い込まれ黒光りした椅子に殿下と共に弁当を広げた。殿下もこの椅子が気に入つたようであった。さて殿下の弁当はどうなつてゐるのかと思つたら、おもむろにご自分のリュックから弁当として水筒を出されたのには少々驚いた。侍従の人が持っているものとばかり思つていたのである。ちなみに、殿下のお弁当は竹の皮に包まれたおにぎりであった。

昼食が済み、再度山頂に向かう。ここでも何処から情報が漏れているのかかなりの登山者があり、中には「よこそ日の出山に」となど書かれた幕を掲げているグループもあつた。山頂ではひとしきり登山者の人と会話を交わされそして関東平野の展望をご覧になり、下山となつた。ここまで済めば本日の役目の大方は終わったようなものである。後は転ばないように注意していれば良いであろう。途中、梅の木峠、三笠山で小休憩をとり愛宕神社へと下る。愛宕神社手前は非常に登山道が滑りやすいので最後の要注箇所である。そこも無事通り越した所で予定外の進行である。整理体操を行う予定だった場所には、殿下をお迎えしようとなつた。最後は殿下と握手を交わし、二人で記念撮影までして下さつたことは一生の記念となつた。

この日一日ほとんど殿下の傍らで過ごさせて頂き、殿下のお人柄の良さ、知識の豊かさ、に感服し、貴賓のある仕事を垣間見、謙虚なお心に感じ入つたしだいである。皇室のお忙しい職務の中で、この一日が心休まる日であつたと感じて頂けたら幸いです。

第四十回武蔵御嶽神社奉納俳句入選作品

応募総数 六七六句 選者 金子千侍

- 特選 第一席 神無月祢宜も巫女等ポール蹴る 萩生田 芳孝
第二席 足跡は襦宜かうさぎか春の雪 所沢市 遠藤 康雄
第三席 焚火の輪話し上手が居て解けず 飯能市 森泉 双輪
第四席 炎帝の威のどかざる御師の宿 世田谷区 小森 葆子
第五席 胴震ひして御嶽杉雪を吐く 宇都宮市 加茂 都紀女

奉納俳句選評

特選一席 神無月祢宜も巫女等ポール蹴る 萩生田 芳孝
日本中の神様が出雲に集つて神社が空留守になる十月を神無月と云います。神様のいない神社では手持無沙汰になつた祢宜さん、巫女さん、男女交ざつて蹴鞠粉い(ポール蹴る)の遊びを楽しんでいます。作者の目に止つたこの光景。俳句に大切な諧謔、痛快に実写されました。

特選二席 足跡は襦宜かうさぎか春の雪 遠藤 康雄
淡い春の雪に包まれて晴れ上がった今朝の神域。蒼穹の天空に向きあつたお庭に点々と何者かの足跡が、ひと筋続いている。早朝のお祈りに行かれた襦宜さんの木履か、いやいや悪戯坊主の山の兎か、作者の心は、足跡が募らせた静寂と美しい透明感に、すっかり酔つておられたのでしょうか。

特選三席 焚火の輪話し上手が居て解けず 森泉 双輪
焚火をしていてと誰彼となく寄つて来て出る。いつの間にか輪が出来る。併し輪から出て行く人、入つて来る人。焚火の輪は出来たり崩れたり。所で一人の話上手が居て、皆が聞き惚れていると、焚火の輪が中々解けないのです。成程少しも気付かなかつた

奉納

- 石段修復事業資金(一万元以上・敬称略)
平成二十四年十月一日〜平成二十四年十二月三十一日
平成一千四百九十一年十一月三十一日
三十万円以上
東京都瑞穂町 吉岡 康・直子
田無自動車教習所 会長 村田利夫
埼玉県さいたま市 柳こぐま薬局 代表取締役 大熊 美智子
埼玉県さいたま市 埼玉実業(株) 代表取締役 大熊英毅
埼玉県さいたま市 南エステ・トラスト 代表取締役 大熊美紀
東京都杉並区 ㈱東京鐘産 代表取締役 大熊雄喜
東京都立川市 砂川中里講中 山本
十三万円以上
東京都青梅市 市川 実
十万円以上
埼玉県狭山市 橋本利彦 橋本貴男
埼玉県八王子市 伊藤頼太郎 伊藤キクノ
九万円以上
埼玉県川口市 濱中 宗祐
六万円以上
東京都青梅市 橋本 甲子夫・幸子
埼玉県さいたま市 陶山 虎雄
五万円以上
東京都目黒区 三由 誠人
東京都八王子市 伊藤 雅行
神奈川県相模原市 伊藤 清房
東京都あきる野市 樋口 隆彦
東京都世田谷区 豊田 勝彦
東京都江東区 中谷 美恵子
三万円以上
埼玉県さいたま市 深井 明
埼玉県さいたま市 伊藤 美幸
一万元以上
東京都東久留米市 岡野 拓人
埼玉県さいたま市 熊野 恵一
埼玉県さいたま市 関口 雅之
山口県田布施町 ハツ波 未来
西暦式年祭記念事業資金
平成二十五年一月一日〜平成二十五年三月三十一日
十万元以上
埼玉県坂戸市 吉野 勝利
五万円以上
東京都大田区 ㈱アイエフ・リサーチ・センター 代表取締役 本道 真智子
三万円以上
東京都青梅市 市川 実
東京都青梅市 市川 良子
埼玉県狭山市 川杉 研二
埼玉県狭山市 戸田 光彦
埼玉県狭山市 戸田 うめ
埼玉県所沢市 師岡 勝
一万元以上
東京都新宿区 鴻野 剛
東京都羽村市 神山 一夫
埼玉県川口市 濱中 宗祐
東京都あきる野市 松田 行央
東京都世田谷区 三田 恭弘
埼玉県坂戸市 森田 順一
埼玉県坂戸市 吉野 敏之
東京都羽村市 渡邊 真理

奉納・営繕資金(一万元以上・敬称略)

- 平成二十四年九月一日〜平成二十五年三月三十一日
東京都瑞穂町 ㈱金咲通産 岡 善彦
東京都八王子市 ㈱荒井電業社 山梨県市川三郷町 ㈱丸井紙店 吉原 泰司・いね子
東京都青梅市 八木岡 照義
東京都八王子市 吉田 泰司
東京都青梅市 瀧 柱郎
東京都青梅市 小野 幸生
東京都東村山市 進藤 喜一
埼玉県日高市 新井竹芸 甘利 マリ子
東京都青梅市 高野 鉄夫
東京都青梅市 田中 誠治
埼玉県新座市 並木 利男
東京都東久留米市 五十嵐 剛
東京都奥多摩町 佐久間建設㈱ 樋口 敦・淳一
東京都奥多摩町 樋口 タマ
青梅市二俣尾 S・H・I デンタルクリニク

秀逸

極彩の本殿の軒蟻地獄 岡崎市 山崎圭子
一山の御師打ち揃ひ夏 中野区 辰巳行雄
拝殿の白壁のしみ梅雨の蝶 青野市 原島康典
追越して飛脚のごとし夏の蝶 多摩市 橋本 絢
風鈴の輪唱始む雨近し 松戸市 林 民江
初詣真つ直ぐ杉の叫びかな 杉並区 澤田 倭平
神住まふ御嶽桜につやめけり あきる野市 岩谷 天津子
雷裂きの杉にある寒の晴 羽村市 杉原 功一郎
夕立や山のはひの濃くなりぬ さいたま市 土肥 寛子
冬枯れの枝に実らす雨 野田市 大野 雅司
邯鄲の闇に鎮もる御師の里 船橋市 栗原 勝
御師の宿より滝行者現はる 狭山市 古谷 彰
慈雨に濡れみだけ霊山山笑う 新座市 長谷川 栄
山笑ふ山したすがへて御嶽神 入間市 塚内 征支郎
御師の宿 太き氷柱の大庇 青梅市 津布久 信雄

佳作

綿虫の如く雪舞御岳山 羽村市 山田三郎
蝌蚪の紐解けて動く神の池 多摩市 河田博之
御嶽の頂上にて秋高し 文京区 花輪 芳子
眼下にはスカイツリーと春の虹 所沢市 遠藤 タカ子
神官やれんげしよまの案内人 府中市 中山 洋子
胡弓聞くあけびの木陰のレストラン 相模原市 関 迪子
祈待太鼓五臓にひびく秋はじめ 江戸川区 武田 きくえ
月を待ちたたずむ足下街灯り 久喜市 海老原 未奈
月落ちて全山眠る虚空かな 日の出町 渡邊 敏雄
坂多き御岳をあるき燕蒸 相模原市 佐分 靖子
御師部落どの径とるも露しとど 狭山市 古谷 多賀子
霧こめてレンゲシヨウマは妖精に 所沢市 前田 沙羅
鯛の鳴き止んだ頃灯をともす 江東区 後藤 浩也
霧深き歴史も深き山の墓 中央区 清水 蒼子
ひとつぶのしずくおもたげれんげしようま 足立区 橋詰 幸人
ケーブルカー足許にある大花野 練馬区 納谷 みよ
かんたんや青梅の灯り星灯り 坂戸市 大塚 一男
階段の汗の先にはおいぬさま 江戸川区 深野 佐知子
日の出待つ歓声山がひと呑みに 飯能市 本多 多華
すみれ野に天狗も遊ぶ御岳道 都留市 清水 美咲
選者吟 雨の紅風の紅あり合飲の花